

地域再生計画

平成24年2月1日

1 地域再生計画の名称

大好き☆出雲「^{やおよろず}八百万の出雲のまげなもん売らこい」～出雲ブランド発信を通じた雇用創出プラン

2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県出雲市

3 地域再生計画の区域

出雲市の全域

4 地域再生計画の目標

(1) 出雲ブランドを発信する場の企画運営と人材育成を通じた雇用創出

本市は、日本海、宍道湖、出雲平野、中山間地域など、多様な自然環境に恵まれており、農林水産資源が豊かで、ぶどう、柿、いちじく、しいたけ、ブロッコリ、たまねぎ、はとむぎ、生姜、和牛など、農業生産活動が盛んである。

良質な素材を生かした食品・加工品や、染物、漆器などの伝統工芸品も数多く存在する。

さらに、「神話の國出雲」は、出雲大社、一畑薬師などの貴重な文化財や荒神谷遺跡などの史跡も豊富で、歴史・文化のシンボルとして観光資源も豊かである。

これらの資源を有効に活用し、付加価値の高い商品をつくりあげ、「出雲ブランド」として全国に発信することで合併後の新しい出雲市の発展を目指す。

これまでは、アンテナショップ、物産展等により「出雲ブランド」としての特産品をピーアールしてきているが、そのアピールの技術・方法が脆弱であるとともに、企画・運営を行う主体が限られている。

また、自社での販売活動が精一杯で、労力的に外に出かけることができないため、販路拡大のフレームが小さくなっている。

このような中、出雲ブランドを強力に発信する人材を育成することが必要不可欠である。出雲の歴史・伝統・文化、観光、食などの知識とともに特産品を販売する能力と知識を兼ね備え、かつ、アンテナショップ等に参加できない事業者にかわってピーアールできる人材を育成することで、より出雲の魅力をアピールし、県外でのアンテナショップの開催の場の拡大を図り、出雲ブランド発信の機会を拡大していく。

観光においては、これまでの物見遊山的な観光から、多様化する観光ニーズに対応した、都会地主導の発地型ではなく、地元主導の地域と密着した出雲発信の旅行商品、観光プラン等が企画できる人材の育成、及び出雲神話や歴史、文化、自然といった出雲の

魅力を訪れた方へ分かりやすく案内できる人材の育成していく。

(2) 出雲ブランドを発信するための新製品、旅行商品、ノベルティ、情報誌等の作成を通じた雇用創出

関連産業への裾野の広い波及効果を獲得するためには、地域の生産物の付加価値を高めた商品の開発や、販路拡大のためのグッズ作成が必要であり、これらを企画運営する人材の育成が必要である。

特産品開発にあたっては、農商工・産学官・異業種の連携による新たな商品の開発推進を、観光面においては地域の魅力や資源、人とのつながりを盛り込んだ商品づくりをすすめる。

さらに、「出雲ブランド」を象徴するノベルティグッズ等の開発・作成により、出雲のアピール力を強化する。

(3) 出雲ブランドを発信する企業のスキルアップ、関係機関の連携・コーディネートを通じた雇用創出

出雲市全体として「出雲ブランド」を確立するため、企業に対しては産学官連携や企業交流などにより製品、技術力の向上を図る。

また、それぞれ独自に取り組んでいる関係機関・関連企業で構成する組織等が連携を強化し、一体的取組を展開することができるように、これらを一元的に動けるようにする組織、人材を育成することで、より効率的かつ効果的な活動による出雲ブランド発信を目指す。

(4) 定量的な目標数値

本地域再生計画の実施により、新規就業者数を平成25年度までに128名創出する。

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

出雲市内の経済団体等からなる協議会を中心として、地域雇用創造推進事業を活用することで地域再生計画の目標の達成に向け、出雲ブランド発信をテーマとした企業力アップ、人材育成、ものづくりの推進による産業振興を目指す。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生の支援措置を適用して行う事業

- ・ 支援措置の名称と番号

地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）：B0902

- ・ 実施主体 出雲市雇用創造推進協議会

I 雇用拡大メニュー

- (1) 出雲ブランドを発信する経営力、企画力を備えた企業の育成ならびに、付加価値の高い商品開発推進による企業の知名度、技術力向上

個人事業主を対象としたセミナーを開催し、経営・企画・人材育成などの集中講座により、企業力を高め、出雲ブランド発信の意欲と技術を高める。

事業者自らが地域の資源を見つめなおし、その価値を再認識する中で活用する術を身につけることで、新たな事業展開につなげ、雇用拡大につなげる。首都圏のバイヤーなどを招聘して、顧客への対応やトラブル処理、仕入れなどのノウハウを学習する。

また、社員の技術力向上や資格取得をすすめるとともに、その必要性の認識を高めることで、企業のグレードアップ、ロイヤリティの確保、信頼の向上にむけた意識作り、環境作りをすすめる。

さらに、大学、専門学校、高校のシーズ発表会への参加などをつうじて新たな事業展開、新商品の開発を促進する。

- (2) まちじゅう観光地を担う事業者育成

市内の宿泊、飲食、物販、交通などの観光関連業者や地域づくり団体を対象として、神話や歴史文化、自然、食など魅力的な地域資源を盛り込んだ出雲ならではの観光地づくりを指導・プロデュースできる講師を招聘し、そのノウハウを学ぶ講座を実施する。併せて、付加価値の高いおもてなしの実践ができる中核的な人材養成講座を実施する。これらの研修を通じて、様々な業種が観光を支える「まちじゅう観光地」の考え方を定着させ、常に出雲ならではの魅力を盛り込んだ旅行商品や観光プランを造成しつづけ、旅行会社や観光情報誌等に取り上げられることで、多様化した観光客のニーズに対応した観光地づくりを推進し、全国からの観光誘客を増加させ、観光事業の拡大及び雇用増加を図る。

II 人材育成メニュー

- (1) 特産品のPR、販売を支える担い手育成事業

求職者を対象として、特産品に関する原材料等の基礎知識や製造販売技術の研修とともに、出雲の歴史、伝統、文化に関する基礎講座を実施することで、求職者の知識、技能を高めることで関係事業者の雇用意欲を拡大させ、事業者のPR力の向上、販路拡大につなげる。

また、アンテナショップの企画運営ができる人材育成のために、現地を含めた実地研修を行う。

さらに、起業に関する研修を行い、求職者能力を高めるとともに起業能力を開発することで、将来の事業主としての雇用拡大につなげるとともに、インターネット関連の

研修を行うことで、ホームページ作成や通信販売に対応できるIT人材を育成することで事業者の雇用意欲の拡大を図る。

(2) まちじゅう観光地を支える担い手育成事業

求職者を対象として、出雲神話や歴史、文化、自然、民俗、食など出雲の魅力を学ぶとともに、その魅力的な地域資源を盛り込んだ出雲ならではの観光地づくりを実践するノウハウを学ぶ研修を実施する。

併せて、観光客のあらゆる要望や案内に対応する総合サービス役のような、付加価値の高いおもてなしが実践できるコミュニケーション能力を備えたコンシェルジュを育成する研修を実施する。そして、出雲らしいきめ細やかなおもてなしを発揮して、行ってみたいと思ってもらえる魅力を創り出していく。

また、有料ガイドとして活躍できる人材を育成するため、神話や歴史文化等の知識、体験型ツアーの企画、楽しく分かりやすい表現力などの能力の習得を目指す出雲かたりベプロフェッショナル養成研修を実施する。以上の講座を通して、まちじゅう観光地を担う人材の育成を図り、求職者能力開発を支援する。

III 就職促進メニュー

(1) 出雲ブランド発信のための地元雇用の促進

セミナー修了者など、重点事業分野への就職を希望する方と重点事業分野等の求人企業とのマッチングを目的とした面接・相談会を開催する。

また、ジョブ・ステーション出雲において、重点分野への就職を希望する方を登録しておき、就職の確保、人材確保に資する。

5-3-2 出雲市等が独自に実施する産業振興施策

(1) アンテナショップ開催事業

都会地での市内特産品の販売や観光情報発信を通して、様々な角度から出雲市の魅力をアピールするとともに、出雲産品の販売拡大、新商品の開発観光客誘致による交流人口の拡大を図る。

(2) 出雲ブランド商品認定事業

全国に通用する優良な地域産品を「出雲ブランド商品」として認定し、全国に向けて積極的な情報発信等を行うことにより、出雲市の認知度やイメージ向上を図るとともに、地域産品の認知度・商品力向上及び流通拡大による産業経済の活性化につなげるため、「出雲ブランド商品認定制度」を創設する。

(3) 産業フェア支援事業

出雲市内外の企業等の製品や技術などを一堂に集め、市民・企業等に広く情報発信・物品販売を行うことにより、企業相互あるいは市民と企業とのコミュニケーションを深めるとともに、商談などによるビジネスチャンスの拡大を図ることなどを目的として「出雲産業フェア」を開催する。

(4) 建設産業分野進出支援事業

長引く経済不況の中、公共工事削減の流れもあり、低迷する地域産業の活性化を図るため、建設業者等の新分野への進出を支援する。

(5) 新製品等販売促進支援補助金

新規性のある製品・商品（以下「新製品等」という。）の販売促進を目的に行われる事業に対して、予算の範囲内で補助金を交付することによって産業の発展を図る。また、農商工連携等の取組に対しても補助金を交付する。

(6) 魅力発見「出雲まるごと着地型旅行商品」開発事業

出雲市では、全国的な知名度を持つ「出雲大社」に、年間250万人の参拝客が訪れるが、観光スポットと周辺の宿泊施設・土産物店などの連携が、必ずしも充分に取り組みされていないため通過型の観光地になっている。

また、有名観光スポットへの一極集中が進み、市内に点在する他の観光地や景勝地は魅力ある観光地でありながら、PR不足等により集客に苦慮している状況である。

そこで、これまでの有名観光スポットに依存した発地型旅行商品だけでなく、地元ならではの魅力を盛り込みながら消費者ニーズを捉え、地域や地元業者への波及効果が生み出せるような「着地型旅行商品」の企画・造成を行う。

- ・地域資源の掘り起こし
- ・モデルコースの構築
- ・旅行商品の発信、誘客活動

(7) 無料職業紹介所の設置運営事業

就職を希望する人への支援、市内企業における円滑な人材確保等を目的に、ひきつづき出雲市の無料職業紹介所である「ジョブ・ステーション出雲」において就職の支援等を行う。

6 計画期間

平成23年度～平成25年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

本計画終了後に「出雲市雇用創造推進協議会」による達成状況の評価を行う。